

2016年 謹賀新年



新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。皆様にて佳いお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は皆様全員の活躍の御蔭で、地域医療への貢献をかなりの程度果たすことができました。医療政策の厳しさが一層増す中で、病院も企業並みの努力を必要とする一方、医療という聖職の責務を果たすことが期待されています。平成 28 年も、職員の皆様の全員の努力と誠意と温かさが、全ての患者さんの幸につながるようにと祈りつつ 2016 年を開始したいと思います。

病院長 桃井 眞里子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。408 床に向けた新たな発展への歩み続けるなかで、チーム医療推進の中核的な役割を担う看護部は、昨年にも増して組織力を活かして国際医療福祉大学病院の歴史を積み重ねていきたいと思っています。

職員お一人おひとりのキャリアの更なる向上とともに、一層のご活躍を期待しています。

看護部長 田口 春美



看護管理者研修

11月21日（土）、那須セミナーハウスを会場にして看護管理者としての能力の向上を目的に「第1回栃木地区看護管理者研修」が開催されました。国際医療福祉大学関連施設の看護師長・副師長の合同研修会であり、看護管理者の役割を再認識するとともに、関連施設間での交流・情報交換ができました。



クリスマス会



★ 神経内科医師によるクリスマス仮装回診 ★

A棟3階東病棟神経難病センターでは、季節のイベントに合わせ、仮装した医師・看護師による回診があります。

12月21日（月）に、サンタやトナカイに仮装した回診が行われ、患者さま1人1人にあたたかなプレゼントが送られました。



★ A棟3階東小児病棟 ★



12月22日（火）にA棟3階東小児病棟にてクリスマス会が開催されました。病棟にクリスマスの装飾が施され、サンタのバルーンアートも用意されました。小児科医師がサンタとなり、写真立て・様々なバルーンアートを入院患児にお届けするほか、小児科スタッフが聖歌隊の衣装を着て、クリスマスソングの合唱も披露され、楽しい会となりました。

★ 託児室たんぽぽ ★

託児室たんぽぽでは、12月22日（金）みんなが楽しみにしていたクリスマス会が開催されました。全員で「あわてんぼうのサンタクロース」「赤鼻のトナカイ」の合奏をしたり、歌を歌ったり、年長児「にじ組」の子どもたちは、「おおきなかぶ」の劇を発表してくれました。最後はサンタさんが登場し、素敵なプレゼントをもらい笑顔がいっぱいのクリスマス会になりました。





部署自慢



ばーすはうす

ばーすはうすは、医療介入の必要性が低い健康な妊婦さんと赤ちゃんを利用対象とした病棟です。分娩台ではなく畳やベッド上での自然分娩や妊婦健診、母乳育児相談も行っています。スタッフは、現在、助産師4名ですが、利用者の方が「満足できるお産と育児」のお手伝いを目指して日々頑張っています。

看護師長 間中伴子



NICU



あかちゃんセンターの平成27年度の目標は「役割を果たしてあかちゃんに愛ある看護を～強みを伸ばし弱みを克服～」です。個々の強みを活かせるように、母乳支援・感染対策・ディベロップメンタルケア・皮膚ケアのワーキンググループを立ち上げ、NICU・GCUでのケアの充実を目指し、一生懸命取り組んでいます。

副看護師長 嶋村寿江

B棟3階病棟

B棟3階病棟は産婦人科・女性リプロが主な診療科です。助産師・看護師・看護補助者・クラーク合わせて31名「安心安全で寄り添うケア」をモットーにしており、また、ばーすはうすやあかちゃんセンター、臨床心理士、地域との連携を大切にしています。

看護師長 高野和江



